

【別紙】各種確認書(申請人作成用)

参考様式

1 日本語能力(該当するものを全て記載)

Japanese language ability (select all the appropriate ones)

■ 試験による証明 Proof based on a Japanese language test

(1) 試験名

Name of the test

(2) 級数又は点数

Attained level or score

日本語能力試験

N2

(3) 試験日

Date of the test

2024年7月7日

直近のもの、またはメインのものについて記載してください。

■ 日本語教育を受けた教育機関及び期間 Organization and period to have received Japanese language education

(1) 機関名

Organization

〇〇日本語学校

(住所)

(Address)

韓国ソウル市XXXXX

(2) 期間

Period from

2023

年

(Year)

9

月

(Month)

から

to

2024

年

(Year)

2

月

まで

(Month)

(3) 学習時間

Study hours

300

時間

hours

授業時間の総数。自習時間等を含めない。

2

記入不要

※ 2の語学能力については、修学に必要な外国語の語学能力の記載で可。募集要項等を参考に可能な範囲で記載してください。

※ 記載は任意となりますので、当該記載内容のみをもって、在留資格において不利益な取扱いをすることはありませんが、可能な限り詳細に記載することを推奨します。在留審査において疑義が生じ、記載内容も不足している場合、書類の追加提出を求める可能性があります。

※ 以下「教育機関／課程等名」については、教育機関、課程、学部、学科、専攻、コース等の名称を詳細に記載してください。

教育機関／早稲田大学

課程等名：

大学院情報生産システム研究科

修士課程

情報生産システム工学専攻

申請人氏名：

WASEDA TARO

パスポートのアルファベット表記

学部生の場合は学部名と学科名（学科が未定の場合は記入不要）

大学院生の場合は研究科名、課程名、専攻名（専攻が未定の場合は記入不要）